

かがやき自立活動通信



草加かがやき特別支援学校 平成26年9月2日 No.14

長かった夏休みも終わりました。気持ちを切り替えて、生活にメリハリをつけましょう。



特集 声かけの工夫

子どもにどんなふうに声をかければよいかは、とても難しい問題です。タイムリーに声をかけたつもりでも「絶対に子どもに届いていないな…」と感ずることもあります。届かない声かけは残念ながら声かけしなかったのと同じかもしれません。逆にうるさすぎる声かけは、騒音程度にしか感じてもらえないかもしれません。

子どもの気持ちになって、声かけを考えてみよう

苦手な課題に向き合っているとき、私たちは「頑張って」「今度こそできるよ」と声をかけることがあります。しかし課題そのものが子どもにとって難しすぎるときには、励ましの声が励ましとして届かず、「うるさいな…」「もう勘弁してよ」と不快な気持ちにさせてしまうこともあります。できなくて悲しくなってしまう子どももいるかもしれません。

ちょっと難しそうかな？なかなかうまくできないな、と見て取れる場合に「早くやって」など指示的な声かけをすると、子どもの気持ちが離れてしまうことが多いです。やる気もなくします。「難しかったね」「頑張ったね」という声かけは有効な場合もありますが、うまくできなかった場合には不満の気持ちが残るかもしれません。

こういう場合は、子どもの感情に寄り添い「ごめん、ちょっと難しいことやらせちゃったね」と言ってみたり、「どうしたらできそう？」「手伝って欲しいことはない？」など尋ねると、先が開けてくることがあります。

子どもが望んでいる声かけか？

目の前の子どもを抜きにして配慮を考えることはできません。声かけも同様です。前項で「子どもの気持ちになって」と書きましたが、子どもの気持ちはどうやって理解すればよいのでしょうか？

気持ちは表情や視線に表れることがあります。困っていそうな表情、誰かを探しているような目、それに気づいたら「どうしたの？」「困っているの？」などと声をかけてみましょう。自分からヘルプを出すことが課題の子どももいますが、周りの大人が「自分から声をかけるまでは絶対に助けないからね！」という強い気持ちでいると、聞くことそのものにも自信が持てなくなってしまう。助けを求めやすい環境であるかもチェックしてみましょう。また助けを求める伝え方は意外と難しいことも理解してください。

そのほか、大人との距離や手の動きなどにも子どもに気持ちが現れることがあります。

困っていても自分でやり遂げたい思いがある子どももいます。課題の目標とともに、どこまで頑張れるかも観察しましょう。

声かけだけが声かけではない

子どもが頑張った時に、ウンとうなずいて笑いかけてあげたり、グー👊👍を見せたり。大切なのは「頑張ったのを見ていたよ」「一人でできたね」「すごいね」という気持ちを伝えることです。子どものできることを見逃さないことがとても大切です。（できて当たり前になっていることも、時々ほめてください。「言われなくても、もう一人でできるんだね。お兄さんになったよね！」など。）

声かけはコミュニケーションですから、会話だけの形ではありません。また様々なコミュニケーションで伝え合うことで、社会性を育てることもできます。できて嬉しかった時に「抱っこ！」とハグを求めてくる段階から、チラッと見てアイコンタクトを交わせる段階など、発達に合わせて変えて行くことも必要になります。

わかりやすい声かけ（いつもの復習です）

子どもに伝わるためには、わかりやすい声かけをすることが大切です。

- ・ 視覚的に
- ・ 具体的に
- ・ 肯定的に（「走らない！」ではなく「歩いて行こうね」）
- ・ 注目を確認してから（背中に声をかけても伝わりません）
- ・ ほめる時は、年齢に配慮
- ・ 伝わりやすい声の大きさ、高さ、情報の量

こんなものを見つけました！

デジタル耳栓



ノイズキャンセラーが重過ぎるお子さん
ノイズキャンセラーの「挟まれ感」が苦手なお子さん
ノイズキャンセラーが目立つのが嫌なお子さん
… に向いているかもしれません。



イヤホンと同じタイプなので、耳に入れるのが苦手なお子さんには適していないかもしれません。騒音（環境音）は消えて、必要な音は聞き取れるので、電車や喫茶店などで大人が使うこともあるようです。軽量。イヤホンが差し込み式ではないので、その部分が弱いかもしれません。

値段はノイズキャンセラーと同じくらいです。

興味のある方は、ネットで「デジタル耳栓」で検索してみてください。



自立ノート

1階遊具広場への出入り口付近に、夏休み中に行った研修会（7月31日と8月26日）の様子を掲示いたします。また、抽出自立活動を行っている児童生徒の様子も掲示します。ご来校の際に、ご覧ください。